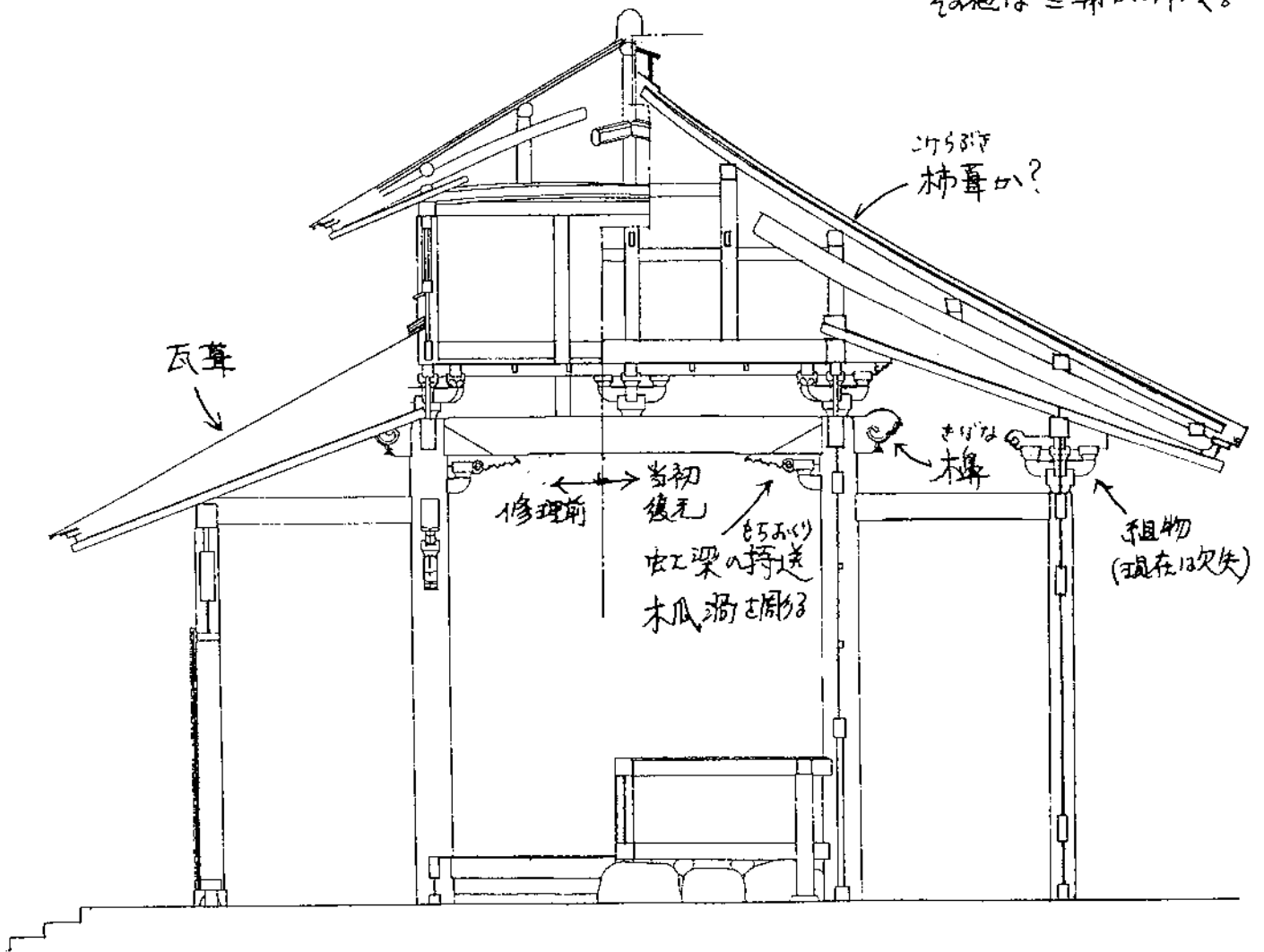


器印の図は修理工事報告書より転載。  
その他は三浦が作成。



明光寺薬師堂

天文八年(1539)

- ・平安後期流行の「一間四面」の阿彌陀堂形式
- ・室町時代の地方寺院本堂の例(真言宗や禪宗)



通常の渦巻  
(唐草)



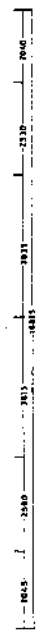
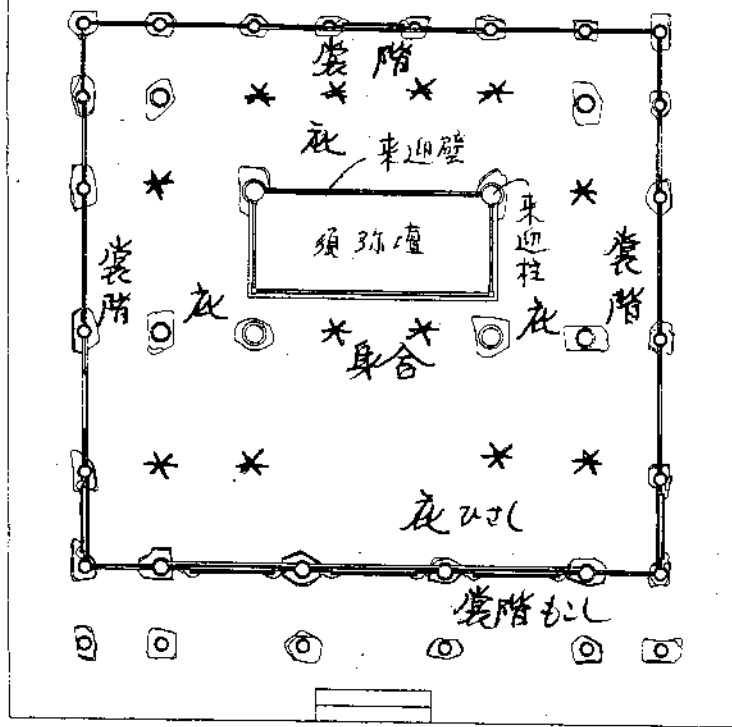
木瓜渦

- ・木瓜渦は18世紀にはじめて虹梁の装飾として全国的に大流行。

広島市内の木瓜渦

明光寺薬師堂	虹梁持送り	天文八	1539
広島東照宮手水舎	虹梁	慶安元	1648
國前寺本堂	向拝虹梁	寛文十	1670
竹林寺本堂	厨子の栴瓦	天文十	1541
(東広島市河内町入野)		(全国第2位)	

日本最古の木瓜渦の建築:  
明光寺薬師堂



元朝の建築の特色  
 \*印は柱の省略  
 [減柱造]

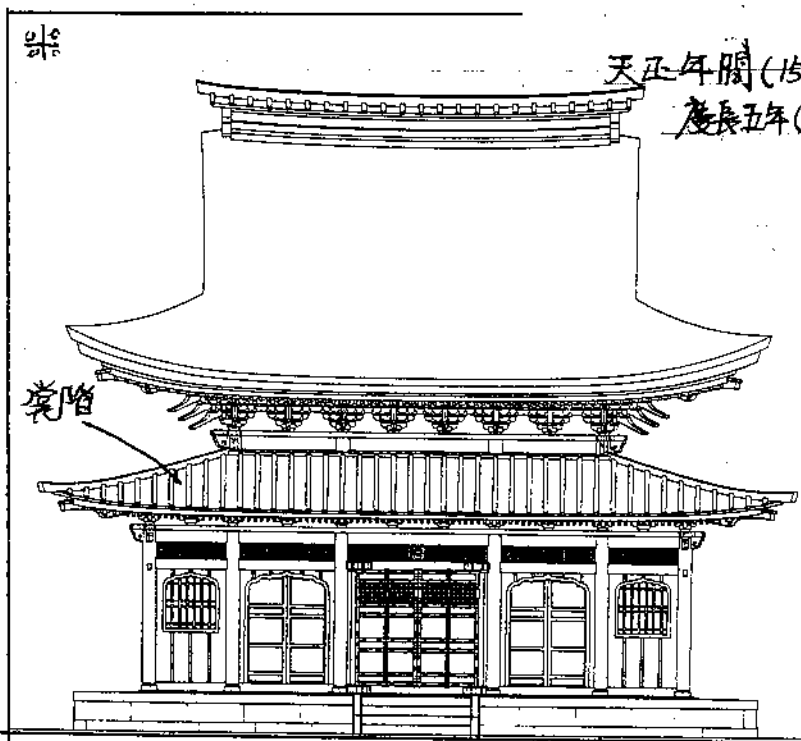
1/200

◎不動院金堂 (宇芸字国寺仏殿)

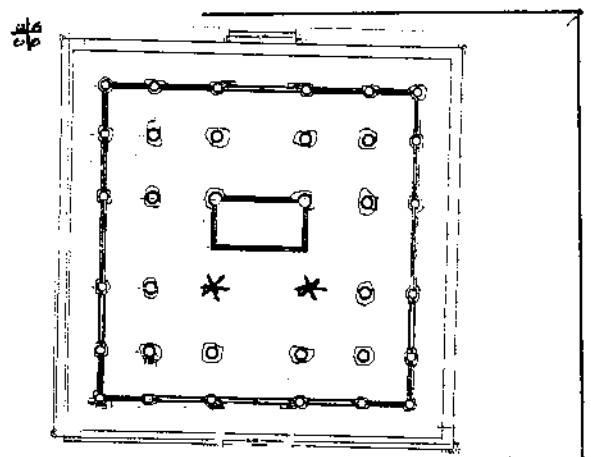
天文九年(1540)以前に建立。当初は大内義興菩提寺  
 凌雲寺仏殿

天正年間(1573~1592)山口到現地へ移築。宇芸字国寺。

慶長五年(1600)関ヶ原の戦いにより毛利氏退去。福島郡川部。  
 真宗へ改宗。不動院と改称。



1/150

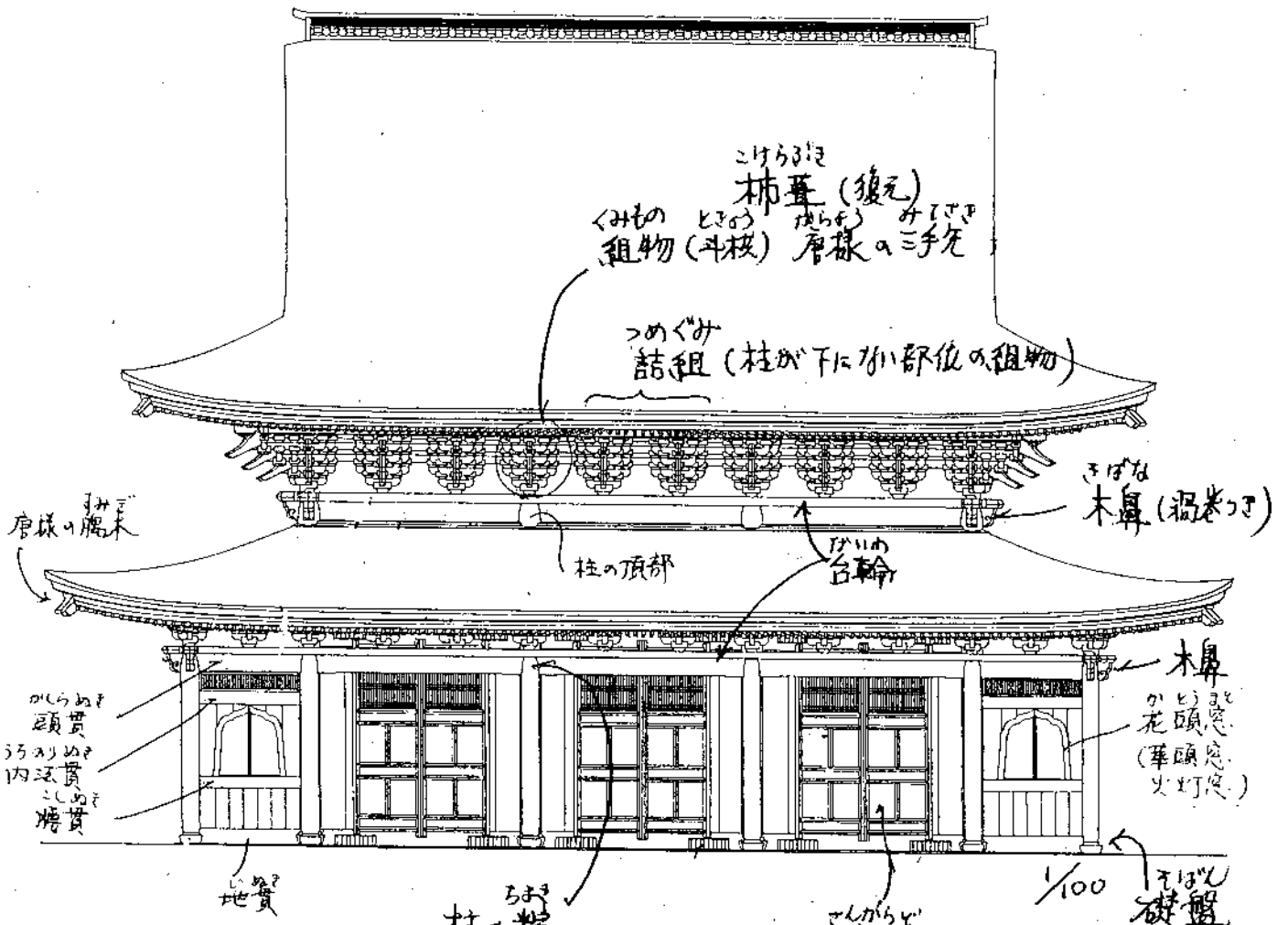


1/200

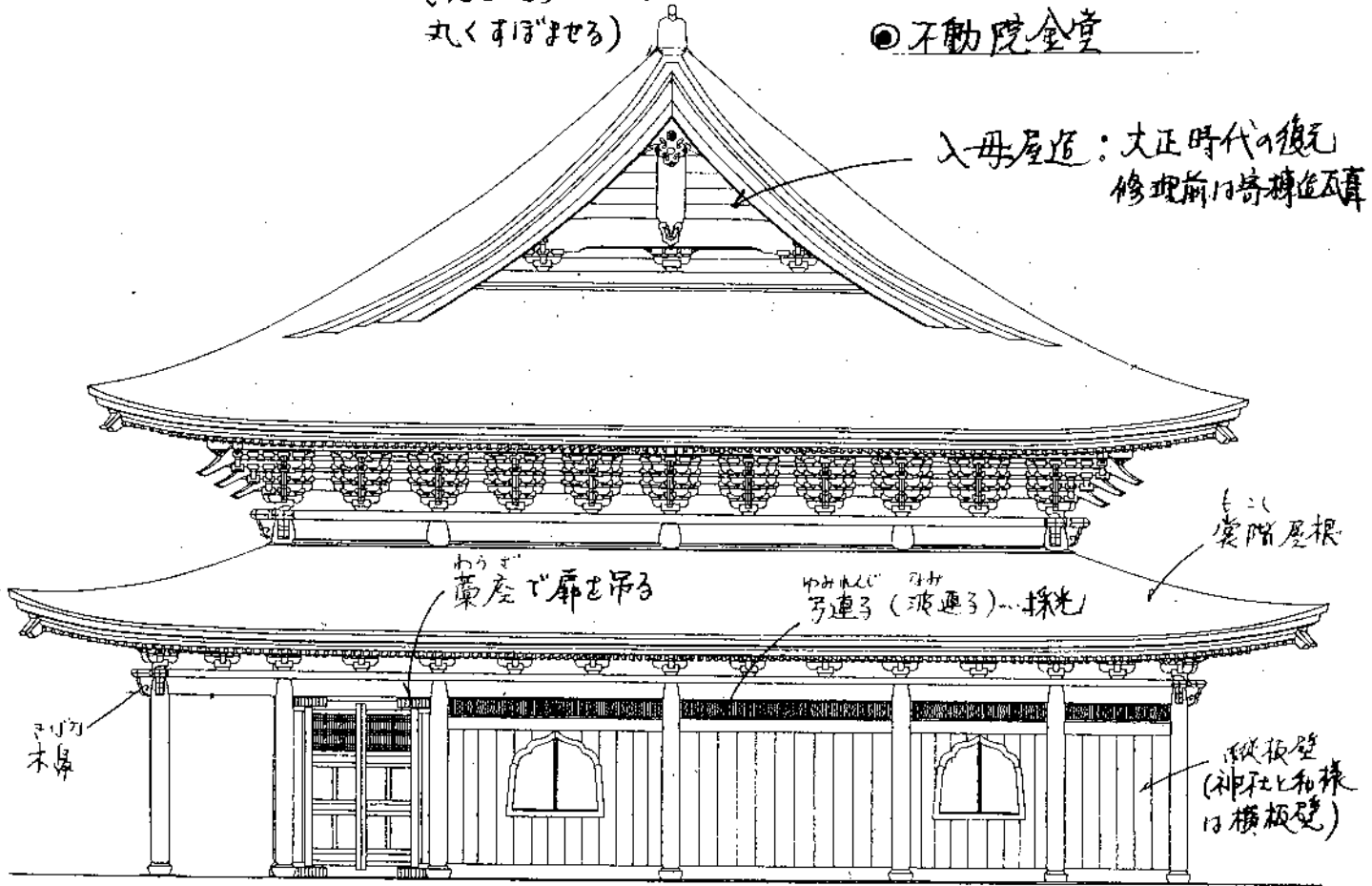
◎正福寺地藏堂 東在郡東村山柿

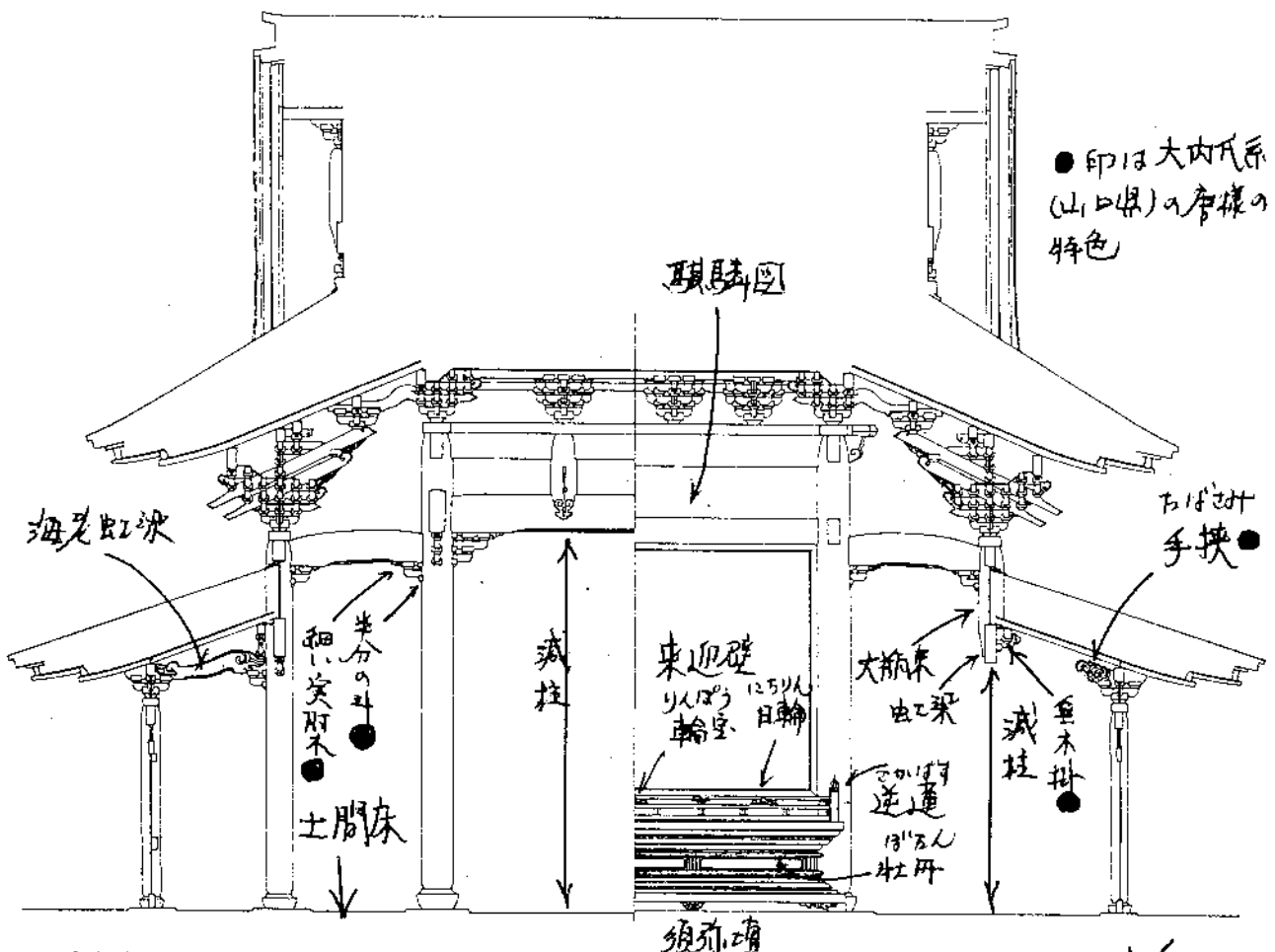
応永十四年(1407)建立  
 典型的な唐様。禪宗仏殿

2 現存最大の中世の禪宗仏殿：不動院金堂



●不動院金堂

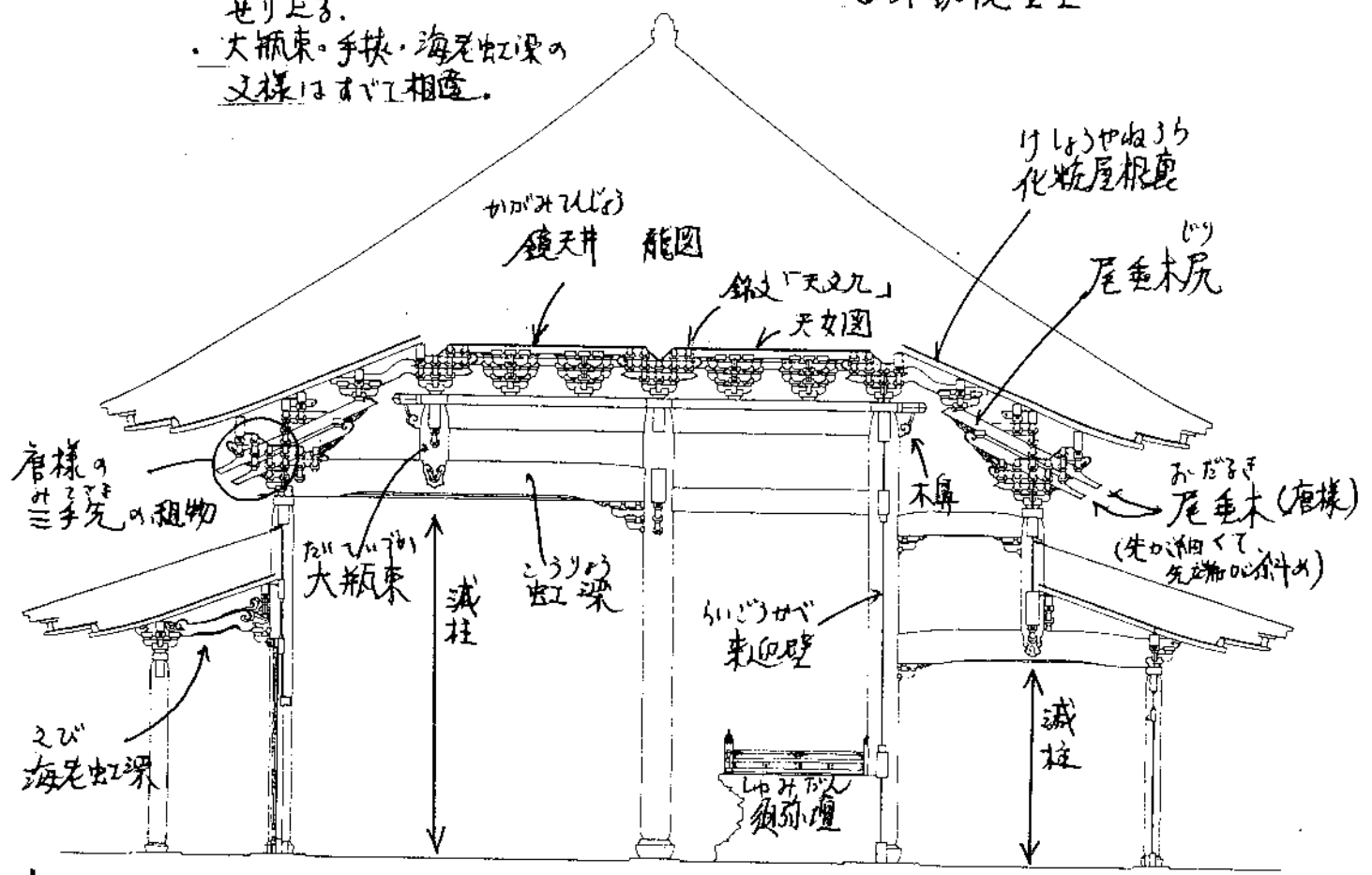


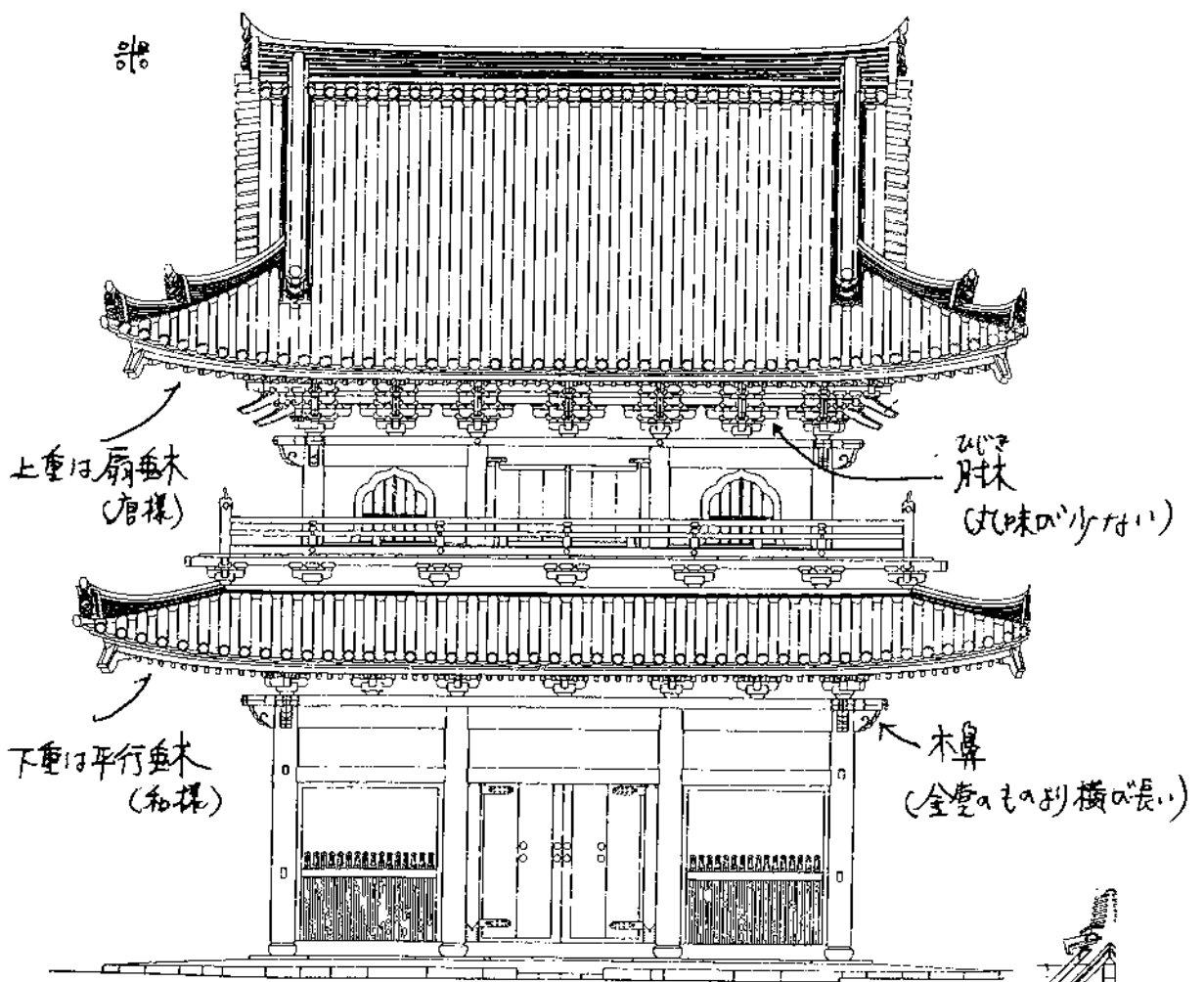


鑑賞の要点、

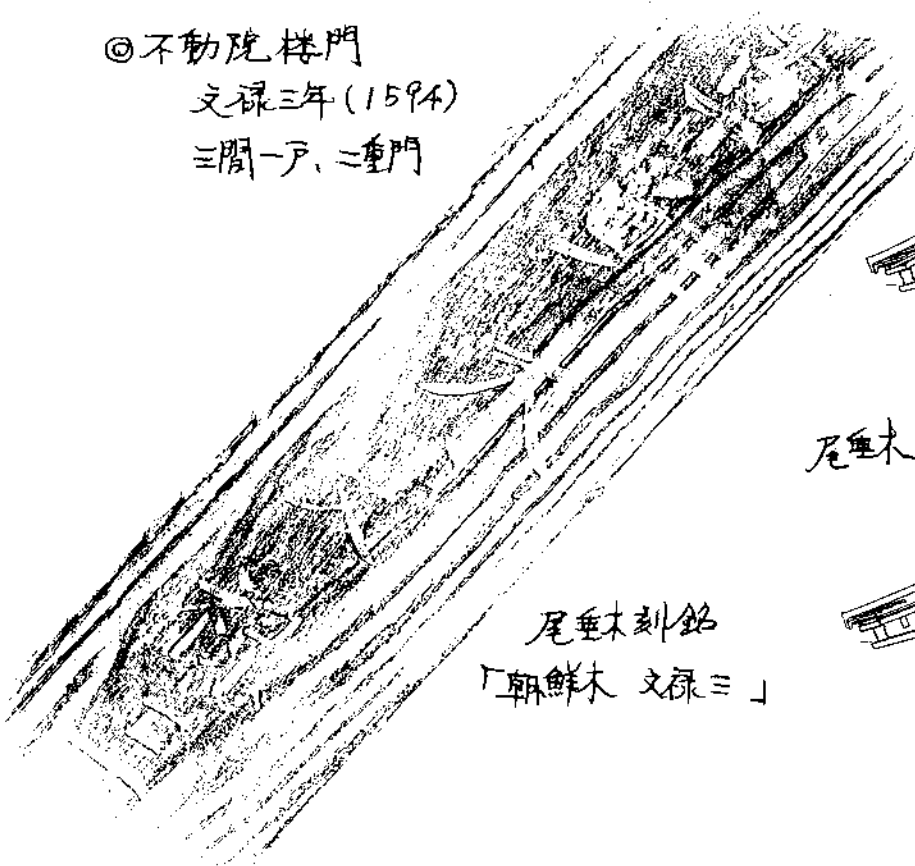
- ・ 減柱造の大空間 — 元朝建築 — 唐様の禪宇仙殿 (今は同じ中世の五山仙殿)
- ・ 中央の鏡天井に向かって四方から尾垂木尻がせり上る。
- ・ 大瓶束・手挟・海老虹梁の文様はすべて相違。

●不動院金堂

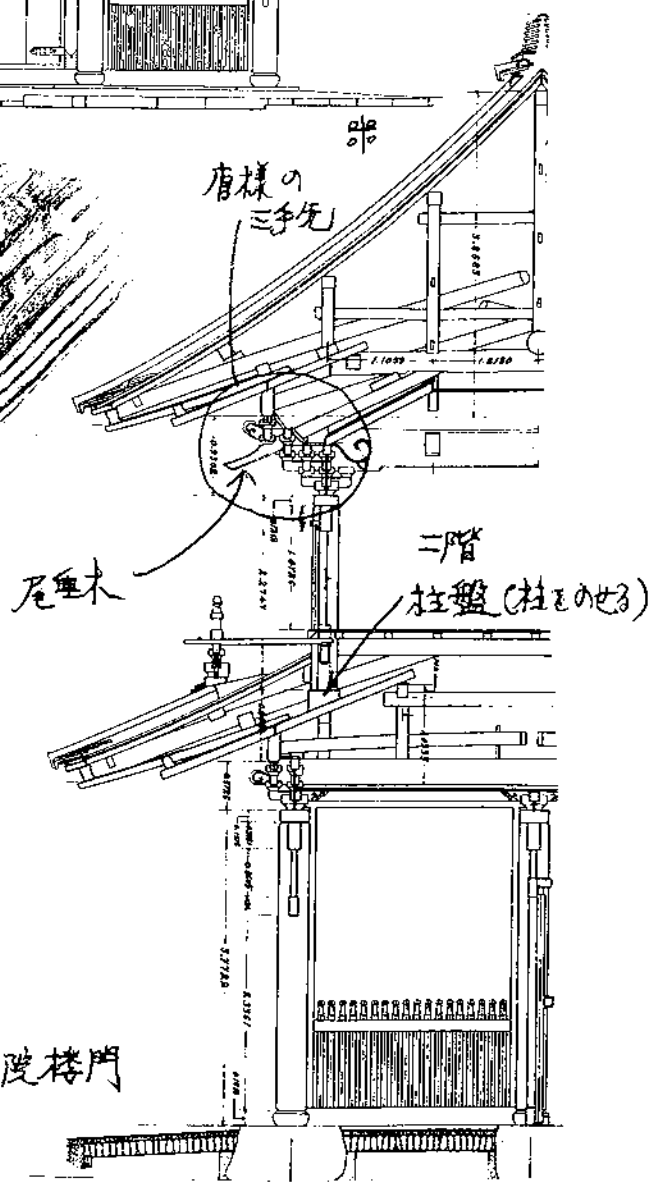




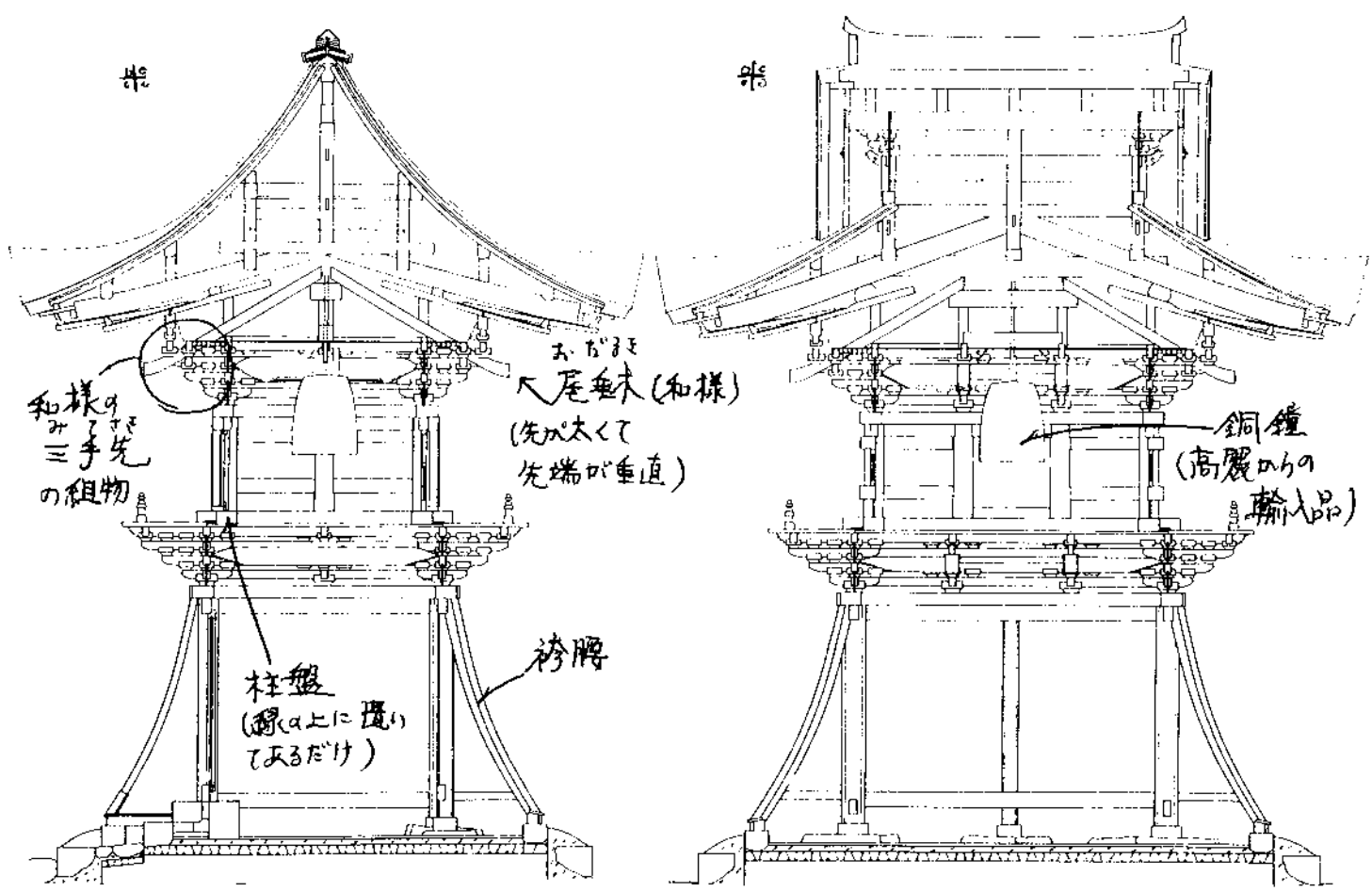
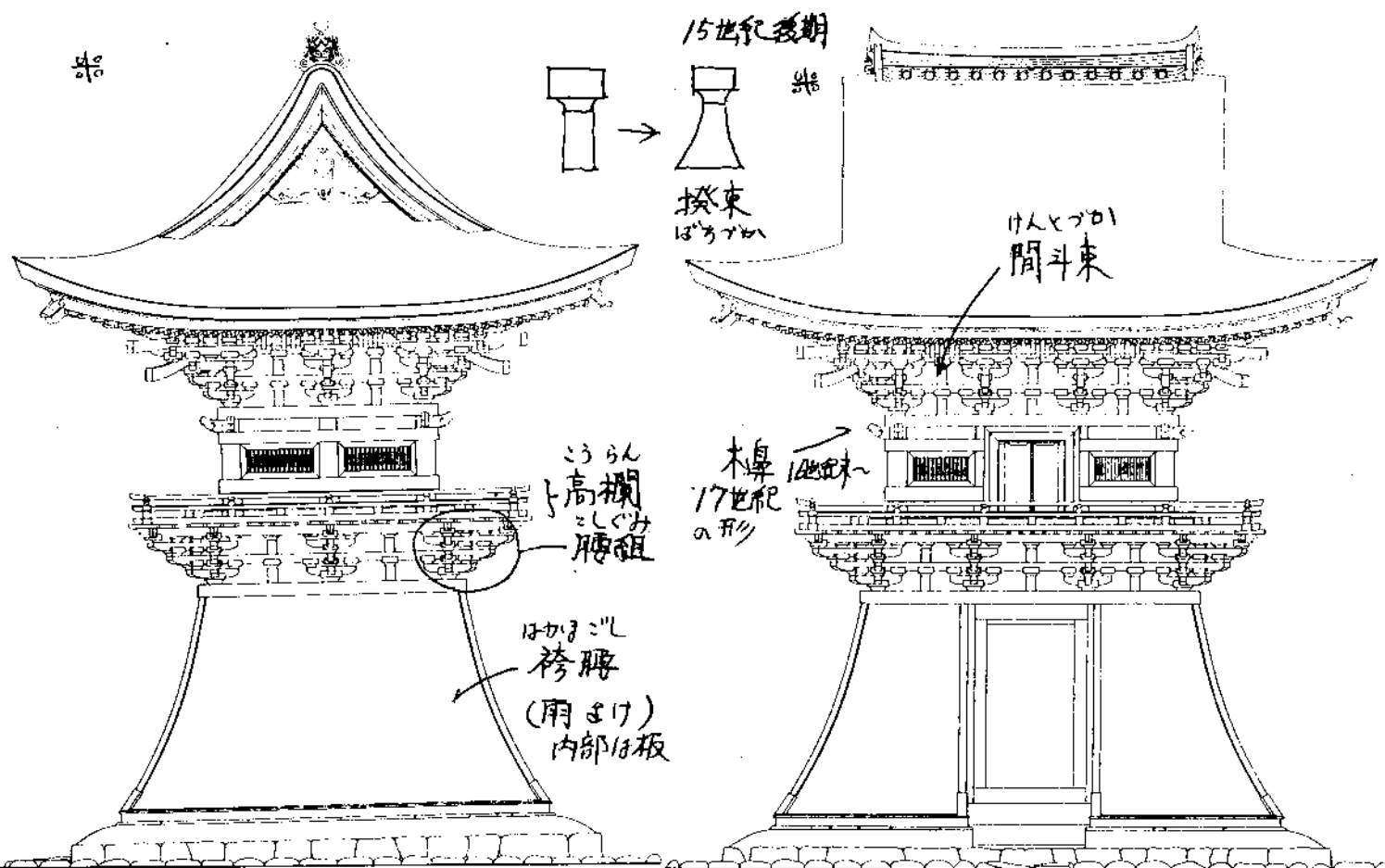
◎不動院楼門  
 文禄三年(1594)  
 三間一戸、二重門



尾垂木刻銘  
 「朝鮮木 文禄三」

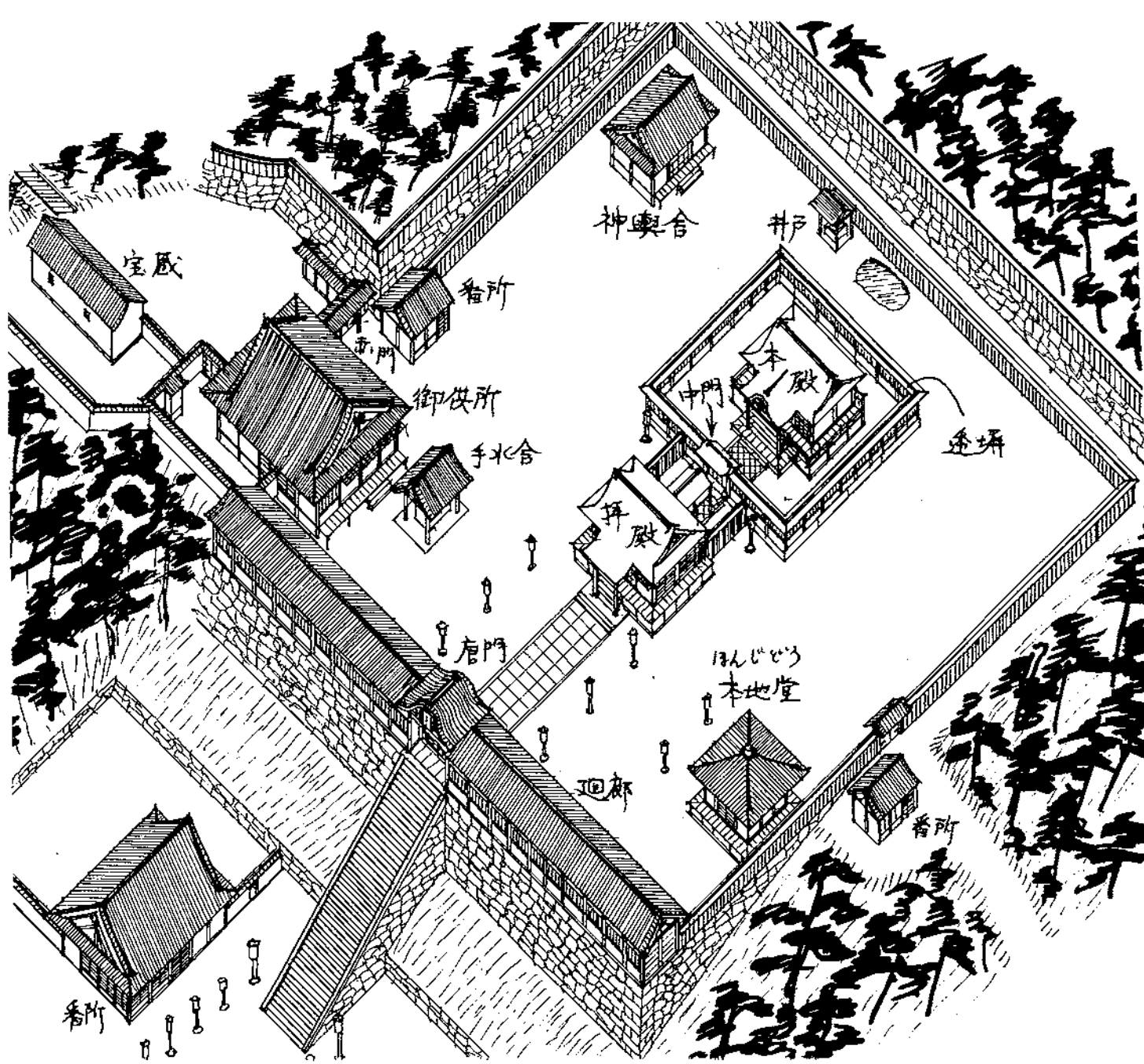


文禄の役で朝鮮で採取した松材を使用：不動院楼門  
 唐様の二重門



市内現存最古の建築：不動院鐘楼  
中世の袴腰つ鐘楼の典型。

◎ 不動院鐘楼 永享五年(1433)  
和様(軒だけは唐様の扇垂木)



広島東照宮 慶安元年(1648)復元図

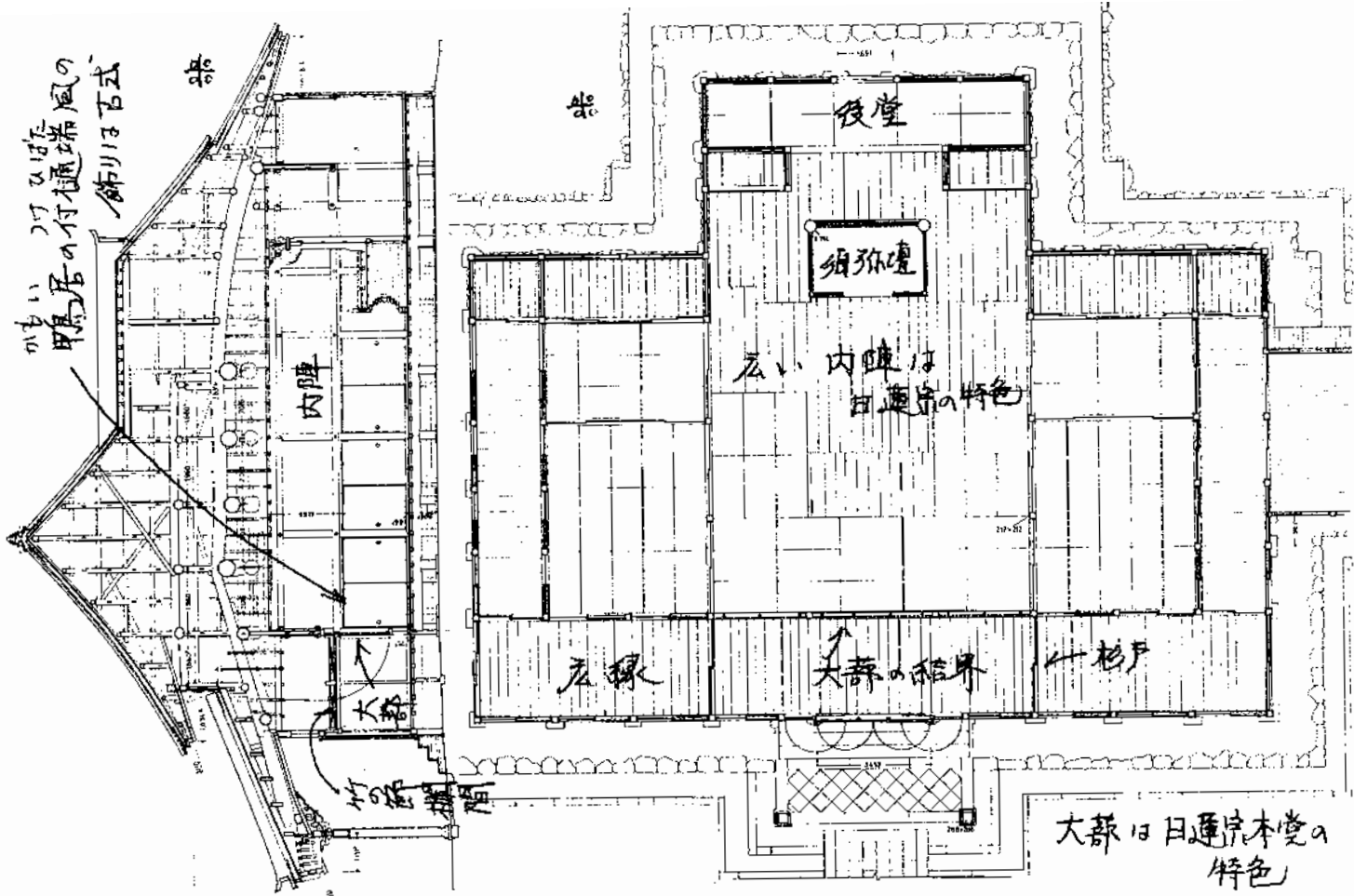
慶安元年(1648) 将軍家光の許可を得て創建  
 明治初期 看所・神輿合を取り壊し、本地堂と神輿合に作り直し  
 昭和二十年 原爆により本殿・中門・拜殿・透塀を焼失。

手水舎：全国で 第二位の古さ  
 御供所： 〃 第六位

- |    |             |
|----|-------------|
| 伊達 | 仙台東照宮       |
| 前田 | 金沢 (現：尾崎神社) |
| 池田 | 岡山 (現：玉井宮)  |
| 池田 | 鳥取 (現：標路神社) |
| 浅野 | 広島          |

国持大名で家康の子孫にだけ許された東照宮建立  
 松平の孫に将軍片諱 (三代将軍家光「光」)

浅野氏は 松平光景の東照宮建立

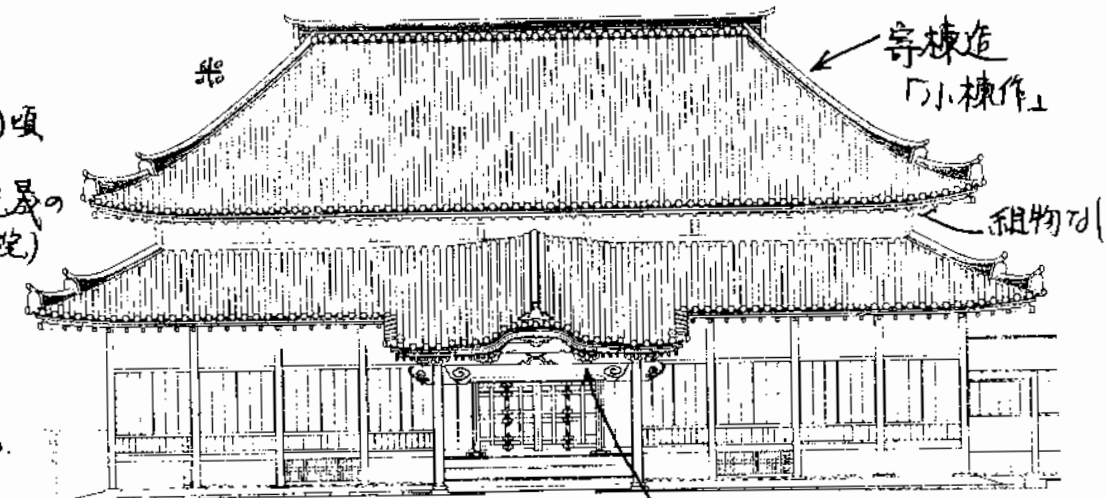


◎國前寺本堂

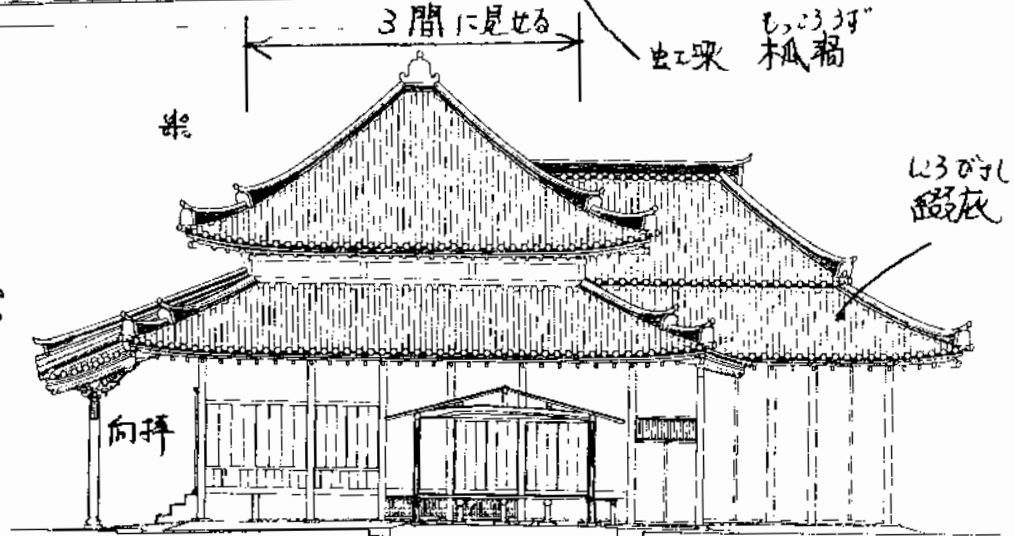
寛文十一年(1671)頃

二代広島藩主浅野光晟の夫人満姫(自昌院)が建立。

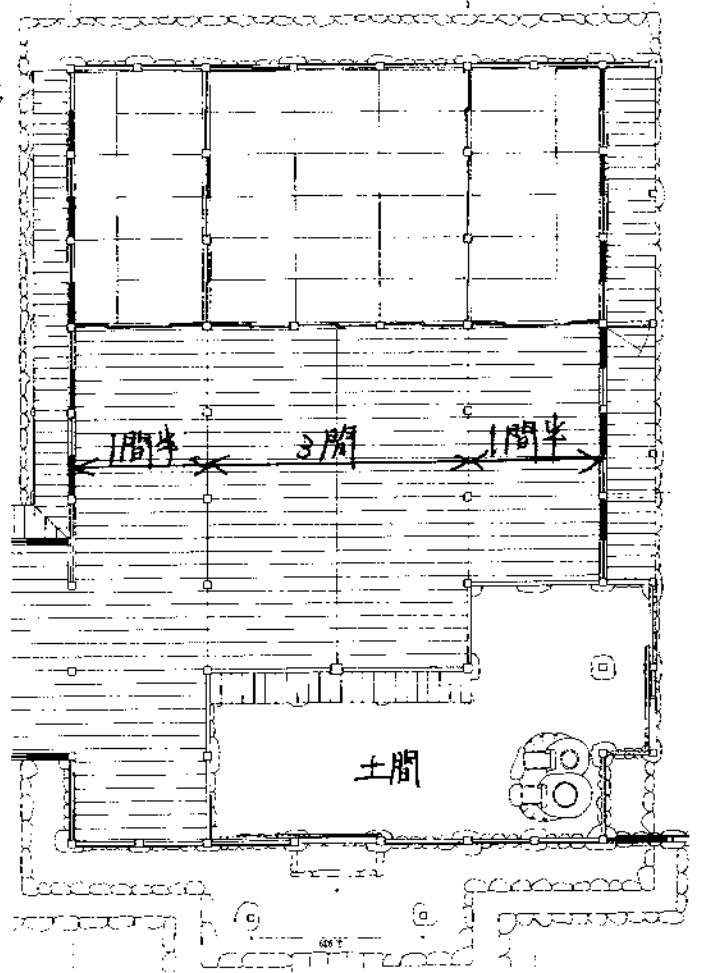
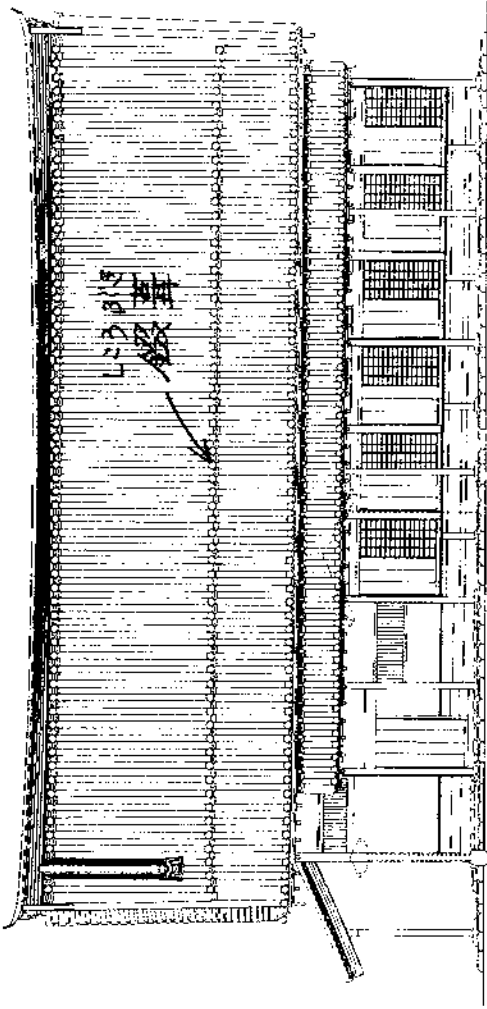
本堂は満姫  
庫裏は光晟  
が建てたといえる。



幕府の建築規制を受けた藩主夫人前田氏の菩提寺；日蓮宗 國前寺







◎國前寺庫裏 寛文十一年(1671)頃

寛文八申年二月の幕府触書

覚

一、梁行京間三間を限べし、但桁行は心次第たるべし

(京間ハ六尺五寸約二m)

一、仏壇ついや、京間三間四方を限べし

一、四方しころ庇、京間三間半を限べし

一、小棟作たるべし (小棟作ハ寄棟造)

一、ひろ木作より上の結構無用たるべし (入母屋造を禁止)

右堂舎客殿方丈庫裏其外何にも此定より  
梁間ひろく作へからず (以下略) 舟形木

